

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

職員給与費	【	職員課	】
-------	---	-----	---

【対象となる職員】

市民活動部産業振興課(勤労者福祉担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費	28,519
・ 給料 一般職	13,008
一般職職員 4人	
・ 職員手当等	11,147
扶養手当	439
地域手当	1,829
通勤手当	539
超過勤務手当	814
休日給	119
管理職手当	667
期末勤勉手当	5,863
住居手当	637
管理職員特別勤務手当	0
子ども手当	40
児童手当	200
・ 共済費	4,364
市町村職員共済組合負担金	

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

**労働環境対策事業** 【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者等

意図 勤労者の労働環境の向上を図るため。

効果 基礎資料を得るとともに労働問題への啓発を図り、労働団体への補助金の交付を通して勤労者の福利厚生を充実するとともに、雇用対策の充実を図る。

【事業の内容】

- (1) 労働環境対策事業
  - ・労働動態調査、地区労働団体との協議、補助金の交付を行った。
  - ・雇用対策事業を実施し、雇用促進を図った。
  - ・求職者向け就業支援事業を行った。
- (2) 労政運営事務
  - ・労政全般にわたる庶務的業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

雇用対策の推進(6-4-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,222	3,714	3,651		63
主な支出内訳				
・労働環境対策事業				
湘南合同就職面接会求人一覧表用紙消耗品費				50
湘南合同就職面接会開催チラシ印刷製本費				124
湘南合同就職面接会周知業務広告料				67
雇用対策セミナー実施委託料				294
就労困難若年者支援委託料				210
求職カウンセリング事業委託料				315
県駐労福祉センター運営費補助金				36
労働祭補助金				323
鎌倉地区勤労者体育大会補助金				162
三浦半島地域連合活動費補助金				76
鎌倉地域労働組合総連合文化厚生事業補助金				76
東日本大震災被災者就労資金貸付事業者助成金				0
・労政運営事務				
事務補助嘱託員報酬 2人				1,778

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労政一般の経費

技能振興事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 技能職者

意図 技能者の技術水準の向上や、社会的地位の向上を図るため。

効果 技能振興を図る。

【事業の内容】

(1) 技能振興事業

- ・技能功労者等の表彰、技能祭の共催及び技能職団体連絡協議会の活動支援により、技能振興を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
555	499	492		7
主な支出内訳				
・技能振興事業				
技能者表彰選考委員会委員報酬 8人				24
技能者表彰記念品等報償費				183
技能職団体連絡協議会補助金				285

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎労働一般の経費

勤労者福利厚生事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者

意図 勤労者のために融資預託、住宅資金利子補給、その他の支援を行うため。

効果 勤労者の生活環境向上及び福祉の増進

【事業の内容】

(1) 融資預託事業

- ・市内に居住、勤務している勤労者の生活の安定と福利の増進を図るため、勤労者生活資金融資を実施する中央労働金庫に、資金を預託した。

(2) 勤労者福利厚生支援事業

- ・中央労働金庫から住宅資金融資を受けた勤労者に支払利子額(平成22年9月償還開始分まで)の一部を、勤労者退職金共済機構等との新規契約者に掛金の一部を、それぞれ補助した。
- ・福利厚生事業を行う労働団体に補助金を交付した。

鎌倉市勤労者生活資金融資利用状況

	新規貸出(24.4~25.3)		貸出残高(25.3末現在)	
	件数	金額(円)	件数	金額(円)
生活資金	25	23,510,000	62	31,795,202

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,070	27,070	25,709		1,361
主な支出内訳				
・ 融資預託事業				
中央労働金庫預託金				20,000
・ 勤労者福利厚生支援事業				
住宅資金利子補給金				3,256
中小企業退職金共済掛金補助金				1,883
三浦半島地域労働者福祉協議会補助金				570

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 5労働諸費

◎勤労者福祉サービスセンターの経費

勤労者福祉支援事業

【 産業振興課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者

意図 (社)鎌倉市勤労者福祉サービスセンター(湘南勤労者福祉サービスセンター)の活動を支援するため。

効果 勤労者の福利厚生の実現

【事業の内容】

(1) 勤労者福祉支援事業

- ・勤労者福祉サービスセンターへの委託により、労働相談等の相談事業を行った。
- ・勤労者福祉サービスセンターが行う講座等の事業へ補助金等を交付した。

(2) 勤労者福祉サービスセンター助成事業

- ・中小企業勤労者の福利厚生の実現を目的として事業を行う鎌倉市の勤労者福祉サービスセンターへ補助金を交付した。
- ・鎌倉市の勤労者福祉サービスセンターと藤沢市のサービスセンター等が統合・参画した湘南勤労者福祉サービスセンターへ負担金を交付した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

湘南勤労者福祉サービスセンターへの支援(6-4-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,596	34,556	31,818		2,738
主な支出内訳				
・ 勤労者福祉支援事業				
勤労者福祉サービスセンター事業委託料				900
湘南勤労者福祉サービスセンター事業委託料				445
勤労者福祉サービスセンター事業補助金				446
・ 勤労者福祉サービスセンター助成事業				
湘南勤労者福祉サービスセンター運営事業費負担金				14,212
勤労者福祉サービスセンター運営費補助金				13,815
財団法人湘南産業振興財団出捐金				2,000

(款) 25労働費 (項) 5労働諸費 (目) 10会館管理費

◎勤労福祉会館の経費

<b>勤労福祉会館管理運営事業</b>	【 産業振興課 】
---------------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

勤労者福祉:市内の企業で、勤労者の働く環境が充実し、安定的な雇用が図られているまち

【事業の目的】

対象 勤労者等

意図 レイ・ウェル鎌倉の適切な維持管理をするため。

効果 適切な維持管理を行い勤労者福祉のための事業を実施する。

【事業の内容】

- (1) 勤労福祉会館運営事業
  - ・ 指定管理者との連絡調整を行った。
- (2) 勤労福祉会館管理事業
  - ・ レイ・ウェル鎌倉を良好な状態に維持するため、必要な施設・設備修繕を行った。
  - ・ 指定管理者との協定に基づき、指定管理料を執行した。

レイ・ウェル鎌倉利用状況

区 分	延件数	延人員
ホール・会議室等	4,541件	55,980人

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
66,777	66,777	65,770		1,007
主な支出内訳				
・ 勤労福祉会館運営事業				
ファクシミリ等賃借料				44
・ 勤労福祉会館管理事業				
レイ・ウェル鎌倉維持修繕料				
エレベーター巻上ロープ等取替修繕				1,019
消火ポンプ更新修繕				1,512
レイ・ウェル鎌倉指定管理料				63,195
指定管理者リスク分担金				0

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 5農業委員会費

◎農業委員会の経費

<b>農業委員会事務</b>	【 農業委員会事務局 】
----------------	--------------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 農業従事者等

意図 農地法等に基づく農地問題の公正円滑な処理、農地の農業上の利用増進、農業経営の合理化を行うため。

効果 鎌倉市に適した都市農業を目指す。

【事業の内容】

(1) 農業委員会事務

- ・平成21年12月の農地法改正等に対応する農地台帳システムを平成24年9月に導入し、農地基本台帳を電算化することで、市内農地について農地法に基づく適正な管理体制を整備した。
- ・農業委員会委員報酬の執行、遊休農地解消対策事業の実施など農業委員会に関する事務事業を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

農地管理システムの導入(6-2-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,438	7,641	7,555		86
主な支出内訳				
・ 農業委員会事務				
農業委員会委員報酬 16人				6,264
農業委員費用弁償				40
事務局職員普通旅費				63
遊休農地解消対策事業消耗品費				131
農地管理システム使用料				770
農業委員大会用バス賃借料				74
農業委員会職員事務研究会会費負担金				8
主な特定財源				
・ 国庫支出金				20

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 10農業水産業総務費

◎農業水産業一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

市民活動部産業振興課(農水担当)  
農業委員会事務局

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		68,701
・ 給料	一般職	32,311
	一般職職員	8人
・ 職員手当等		25,617
	扶養手当	915
	地域手当	4,450
	通勤手当	854
	超過勤務手当	3,063
	管理職手当	914
	期末勤勉手当	13,309
	住居手当	1,347
	子ども手当	120
	児童手当	645
・ 共済費		10,773
	市町村職員共済組合負担金	



(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 15農業水産業振興費

◎農業振興の経費

<b>農業振興運営事業</b>	【 産業振興課 】
-----------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 農業従事者等

意図 農業施策上必要な協議調整や事業を行い、農業経営の安定を図ることで市場の経営基盤確立と野菜の安定供給を図るため。

効果 農業経営の安定と農産物の安定供給。

【事業の内容】

(1) 農業振興運営事業

- ・ 農業者・関係団体・公募市民等から組織する第2期鎌倉市農業振興協議会において、鎌倉の農業振興について協議・検討を行い、報告書を取りまとめた。
- ・ 鎌倉青果地方卸売市場や国の施策・制度を利用する農業者に対する補助、秋の収穫まつりの実施などにより、農業の振興を図った。
- ・ 植木剪定材を利用した堆肥の作成・販売については、堆肥に含まれる放射性物質濃度が、暫定許容値以下であったが、農業者と協議し、利用を中止した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

農産物等ブランドの振興(6-2-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,074	8,864	6,845		2,019
主な支出内訳				
・ 農業振興運営事業				
臨時的任用職員賃金				665
鎌倉市農業振興協議会委員報償費				102
鎌倉ブランド堆肥パッキング等委託料				0
秋の収穫まつり等委託料				520
農業関係団体負担金				198
農業振興事業費補助金				2,500
鎌倉青果地方卸売市場活性化事業補助金				1,100
鎌倉青果地方卸売市場集荷奨励事業補助金				1,098
鎌倉市野菜生産出荷奨励事業補助金				542
鎌倉市農業経営基盤強化資金利子助成金				27
鎌倉市環境保全型農業直接支援対策事業交付金				15
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				8

(款) 30農林水産業費 (項) 5農業水産業費 (目) 15農業水産業振興費

◎農業振興の経費

市民農園事業	【 産業振興課 】
--------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 市民

意図 市民が野菜及び草花の栽培を通じて自然と触れ合い、農業への親しみ及び理解を深める機会を提供するため。

効果 市民が農作業を行うことにより、農業への理解が得られるとともに、農地のレクリエーション機能の活用が図られる。

【事業の内容】

- (1) 市民農園事業
  - ・大船地区市民農園の維持管理を行い、第9期(平成24年4月から23か月)の利用を開始した。
  - ・土地所有者が事業主体となる市民農園については、具体的な事案がなかった。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,563	1,563	782		781
主な支出内訳				
・市民農園事業				
市民農園耕作指導料等報償費				504
市民農園施設整備等委託料				278

◎水産業振興の経費

水産業振興運営事業

産業振興課

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 漁業従事者等

意図 水産関係団体との連携を図るとともに、栽培漁業の推進などにより、漁業経営の安定化を図り、地域に即した漁業の振興を図るため。

効果 つくり育てる漁業の推進を支援することにより、水産業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 水産業振興運営事業

- ・鎌倉花火大会の際に、沖合いの定置網へ標識灯を設置し、船舶による漁具被害の防止を図った。
- ・漁業協同組合への補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業の振興を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,681	3,629	3,053		576
主な支出内訳				
・水産業振興運営事業				
鎌倉花火大会漁具被害防止作業委託料				903
神奈川県水産振興促進協会等負担金				668
漁業施設等災害見舞金				0
鎌倉漁業協同組合事業費補助金				853
腰越漁業協同組合事業費補助金				537

◎水産業振興の経費

<b>漁港施設管理運営事業</b>	【 産業振興課 】
-------------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 漁業従事者等

意図 腰越漁港施設の良い維持管理を行うとともに、老朽化や係船岸・泊地・漁業用地の不足などの改善と、市民にも開かれた漁港施設の整備を図るため。鎌倉地域の漁港建設の方針策定を図るため。

効果 漁業者が円滑に漁業活動を営むことを支援するとともに、市民に開かれ環境にも配慮した漁港施設を整備することにより、地域に密着した沿岸漁業の振興を図る。

【事業の内容】

- (1) 漁港施設管理事業
  - ・ 漁港施設維持運営計画に基づき、漁港施設の維持管理を行った。
  - ・ 腰越海岸の飛砂防止のための海浜整地業務や、必要な漁業施設整備を行った。
- (2) 漁港施設整備事業
  - ・ 腰越漁港整備基本計画に基づき、市民の理解を得ながら、整備事業を推進した。
  - ・ 前年度からの繰越明許費により、腰越漁港改修整備工事を行った。
  - ・ 平成24年度腰越漁港改修整備工事については、年度内での完了が困難なため、翌年度へ繰越を行った。
- (3) 鎌倉地域漁港対策事業
  - ・ 鎌倉漁港対策協議会からの答申、鎌倉地域の漁業と漁港にかかるワークショップ(6回開催)からの意見及び市の財政状況等を検討し、「今後の鎌倉地域の漁業及び漁港にかかる市の考え方」を決定した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 鎌倉地域の漁港建設(6-2-3-①)
- 腰越漁港の改修整備(6-2-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
618,455	632,087	492,881	137,525	1,681
主な支出内訳				
・ 漁港施設管理事業				
漁港施設等維持修繕料				200
腰越漁港指定管理料				378
漁業施設等整備業務委託料				1,630
・ 漁港施設整備事業				
水産公共工事システム運用支援委託料				998
腰越漁港改修整備事業環境モニタリング調査委託料				2,184
都市計画決定申請図書作成業務委託料				0
海岸保全区域変更業務委託料				3,129
腰越漁港内ブロック撤去業務委託料				882
腰越漁港改修整備事業臨港道路地質調査業務委託料				997
腰越漁港改修整備工事費(翌年度への繰越明許費)				277,317

腰越漁港改修整備工事費(前年度からの繰越明許費)	200,372
・鎌倉地域漁港対策事業	
鎌倉地域漁港建設基本構想合意形成支援業務委託料	4,000
主な特定財源	
・国県支出金	350,696
・地方債	105,200

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 5商工総務費

◎商工一般の経費

商工運営事業	【 観光商工課 】
--------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 事業者等

意図 商工業の振興、物産振興を図るため。

効果 産業の維持、発展と活力あるまちの創出が図られる。

【事業の内容】

(1) 商工運営事業

- ・商工事務事業に係る庶務的業務を行った。
- ・萩市、上田市、足利市及び鎌倉市の特産品を一堂に集め、それぞれの物産と観光を市民に紹介する姉妹都市物産展を開催した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,768	2,768	2,656		112
主な支出内訳				
・商工運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
姉妹都市物産展開催準備等委託料				482

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 5商工総務費

◎商工一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員等】

経営企画部市民相談課(消費生活担当)

市民活動部観光商工課(商工担当)

【職員給与費等】

(単位:千円)

職員給与費		45,294
・ 給料	一般職	22,499
	一般職職員	5人
	再任用(短時間)	1人
・ 職員手当等		15,157
	扶養手当	341
	地域手当	3,097
	通勤手当	526
	超過勤務手当	1,109
	管理職手当	914
	期末勤勉手当	8,616
	住居手当	434
	子ども手当	20
	児童手当	100
・ 共済費		7,638
	市町村職員共済組合負担金	6,878
	社会保険料	670
	雇用保険料	90

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎中小企業支援の経費

中小企業支援事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 中小企業者等

意図 市内の中小企業の健全な発展及び振興を図るため。

効果 安定的な事業経営・新規事業展開の実現を図る。

【事業の内容】

(1) 融資預託事業

・市の制度融資を実行するための原資となる資金を金融機関へ預託した。

(2) 信用保証料助成事業

・制度融資を利用した際に支払う信用保証料について、その一部を補助し、負担の軽減を図った。

(3) 融資利子補給事業

・経営安定資金融資の利用者に支払利子相当額の一部を補助し、負担の軽減を図った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
534,252	527,368	518,425		8,943
主な支出内訳				
・融資預託事業				
中小企業融資預託金				
預託先 4金融機関				
融資件数 89件				
融資金額 385,160千円				
500,000				
・信用保証料助成事業				
信用保証料補助金				
120件				
7,567				
・融資利子補給事業				
経営安定資金融資利子補給金				
438件				
10,858				



(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

**商工業振興運営事業** 【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 事業者等

意図 事業者等の安定的な経営を確保し、商工業の振興と総合的な改善・発達を図るため。

効果 市内中小企業者の経営安定の確保と、商工業の振興と総合的な改善・発達を図ることにより、地域産業の振興と活力あるまちの創出を図る。

【事業の内容】

- (1) 商工業振興運営事業
  - ・ 伝統的工芸品産業の振興を図る団体に加入し、情報収集を図った。
  - ・ 公益財団法人神奈川産業振興センターが実施する経営アドバイザー派遣事業の利用者が支払う費用の一部を助成する制度については、派遣事業の利用がなかったため、助成を行わなかった。
- (2) 商工会議所助成事業
  - ・ 商工業の総合的な改善・発達と社会一般の福祉の増進を目的とする商工会議所の運営及び事業に要する経費の一部を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,122	15,122	15,008		114
主な支出内訳				
・ 商工業振興運営事業				
伝統的工芸品産業振興協会賛助会費				40
経営アドバイザー派遣事業補助金				0
・ 商工会議所助成事業				
商工会議所運営費補助金				6,935
商工業振興事業等補助金				554
中小企業経営支援事業補助金				7,179
神奈川県商工会議所青年部連合会事業補助金				300

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

商店街振興事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商店街等

意図 商店街が行う各種事業に対して支援を行い、商店街の活性化を図るため。

効果 商店街を支援することにより、まちの活性化と地域産業の振興の実現を図る。

【事業の内容】

(1) 商店街助成事業

・鎌倉市商店街連合会の組織強化と活性化を支援した。

(2) 商店街振興事業

・専門家の助言を必要とする商店街に対してアドバイザーを派遣し、助言・指導を行った。

・商店街団体の街路灯及び電飾アーチの電気料金の一部を助成した。

・商店街団体が実施する売上の増加が見込まれる事業、地域住民との交流が見込まれる事業等に要する経費の一部を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

商店街にぎわいづくり(6-2-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
12,064	12,064	11,076		988
主な支出内訳				
・商店街助成事業				
商店街連合会補助金				1,710
・商店街振興事業				
商店街アドバイザー謝礼				100
商店街街路灯等維持管理費補助金				5,630
商店街活性化事業費補助金				3,636

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

商工業振興事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 商工業者、商店街団体等

意図 商工業者や商店街団体が事業展開しやすい環境を整備するとともに、中小企業の経営革新を支援するため。

効果 商工業の持続的な発展と、活力あるまちの創出を図る。

【事業の内容】

- (1) 商業振興共同施設助成事業  
・商業団体が実施する共同施設の設置に要する経費の一部を助成した。
- (2) 新規活性化事業  
・地域の資源を活用して創業する事業や新しい商品・技術の開発、サービスの提供を行う事業に要する経費の一部を助成した。
- (3) 工業振興事業  
・中小企業者が実施する産業財産権取得事業、展示会等出展事業の経営革新事業に要する経費の一部を助成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

産業環境の整備(6-2-6-①)  
新事業創出支援(6-2-8-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,997	3,997	3,063		934
主な支出内訳				
・商業振興共同施設助成事業				
商業振興共同施設設置費補助金				569
・新規活性化事業				
商工業元気アップ事業選定委員会委員報酬 3人				47
商工業元気アップ事業フォローアップ診断謝礼				50
商工業元気アップ事業費補助金				1,764
・工業振興事業				
環境共生事業(企業施設整備事業)等補助金				623

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

公衆浴場助成事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 公衆浴場業者

意図 公衆浴場業の健全な運営を支援し、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上に努めるため。

効果 公衆浴場業者を支援することにより、市民の利便性の確保と公衆衛生の向上・増進に繋がりが、更には地域におけるコミュニティの場の創出を図る。

【事業の内容】

(1) 公衆浴場助成事業

- ・公衆浴場を確保するため、一定の要件を満たす公衆浴場の用水費、燃料費及び光熱費の一部を助成した。
- ・公衆浴場の設備の整備に要する経費の一部を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
936	936	936		0
主な支出内訳				
・公衆浴場助成事業				
公衆浴場確保対策事業費補助金				296
公衆浴場設備整備費補助金				640
主な特定財源				
・国県支出金				60

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 10商工業振興費

◎商工業振興対策の経費

伝統鎌倉彫振興事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
産業振興:農業・漁業、商工業などの産業が活発なまち

【事業の目的】

対象 伝統鎌倉彫事業協同組合

意図 鎌倉で唯一「伝統的工芸品」として指定されている鎌倉彫の高度な技術の伝承と地場産業としての振興を図るため。

効果 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う各種事業を支援することにより、鎌倉彫産業の振興を図る。

【事業の内容】

(1) 伝統鎌倉彫振興事業

- ・ 鎌倉彫振興事業所の維持管理を行った。
- ・ 伝統鎌倉彫事業協同組合が行う鎌倉彫創作展、小・中学生の体験教室等に要する経費の一部を助成した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,848	1,848	1,815		33
主な支出内訳				
・ 伝統鎌倉彫振興事業				
鎌倉彫振興事業所光熱水費				420
鎌倉彫振興事業所維持修繕料				172
鎌倉彫振興事業所警備委託料				124
鎌倉彫リーフレット作成業務委託料				218
伝統鎌倉彫振興事業補助金				857

(款) 35商工費 (項) 5商工費 (目) 15消費生活対策費

◎消費者保護の経費

消費生活運営事業

【 市民相談課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

消費生活:消費者が安心して、トラブルのない消費生活を送れるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 担当内の庶務を円滑に推進する。

効果 担当内庶務の円滑化

【事業の内容】

(1) 消費生活運営事業

- ・消費生活行政の経理庶務事務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5	5	3		2

主な支出内訳

・消費生活運営事業

消費生活行政に係る消耗品費

3

◎消費者保護の経費

<b>消費者被害対策事業</b>	【 市民相談課 】
------------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち

消費生活:消費者が安心して、トラブルのない消費生活を送れるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 消費者被害を未然に防ぐなどの啓発を行うとともに、商品・サービスの購入に係る苦情を受けるため。

効果 消費者被害防止、食の安全などの情報を市民に向けて伝え、また消費者の苦情相談に対し、あっせん、助言、調停などを通じ被害の救済を図ることができる。

【事業の内容】

(1) 消費者啓発事業

- ・消費者被害を未然に防ぐため、消費生活講座、移動教室や暮らしのニュースなどによる啓発を行った。
- ・市民活動団体との協働で、不用品登録事業を行った。
- ・消費者運動の健全な発展を促し、支援を図るため、消費者団体に補助金を交付した。

(2) 消費生活相談事業

- ・消費生活相談員による消費生活に関する苦情相談、助言を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

消費生活センターの運営と消費者被害の回復支援 (6-5-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,755	16,714	15,245		1,469
主な支出内訳				
・消費者啓発事業				
移動教室、講座講師等謝礼				190
暮らしのニュース印刷製本費				265
不用品登録事業負担金				850
消費者団体補助金				23
・消費生活相談事業				
消費生活相談員報酬 7人				10,194
消費生活委員会委員報酬 9人				72
消費生活紛争調停委員会委員報酬 3人				0
消費生活相談員助言報償費				600
消費生活相談員費用弁償				955
消費生活センター周知用消耗品費				610
消費生活相談員助言委託料				500
食品の放射能測定業務委託料				395
主な特定財源				
・国県支出金				
				4,579

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 5観光総務費

◎観光一般の経費

<b>観光運営事業</b>	【 観光商工課 】
---------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の魅力を広く周知することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。さらに、それら観光客が安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、鎌倉の魅力を堪能でき、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

(1) 観光運営事業

- ・神奈川県観光協会などの関係団体、協議会と連携し、誘客キャンペーンやパンフレットの作成などの広報宣伝や情報交換等に努めた。
- ・第2期鎌倉市観光基本計画の推進及び進行管理に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

観光基本計画の推進(6-3-5-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,450	4,450	4,156		294
主な支出内訳				
・観光運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
鎌倉市観光基本計画進行管理委員会委員報償費				80
富士箱根伊豆国際観光テーマ地区神奈川県協議会負担金				600
神奈川県観光振興対策協議会負担金				210
湘南地区観光振興協議会負担金				243
鎌倉藤沢観光協議会負担金				180
東大寺サミット負担金				150
神奈川県観光協会負担金				90



(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 5観光総務費

◎観光一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

市民活動部のうち観光商工課(観光担当)・観光振興推進担当

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		51,253
・ 給料	一般職	22,162
	一般職職員	6人
・ 職員手当等		21,670
	扶養手当	1,669
	地域手当	3,346
	通勤手当	683
	超過勤務手当	3,415
	休日給	77
	管理職手当	1,828
	期末勤勉手当	9,426
	住居手当	946
	管理職員特別勤務手当	0
	子ども手当	80
	児童手当	200
・ 共済費		7,421
	市町村職員共済組合負担金	7,408
	雇用保険料	13

◎観光振興の経費

**観光振興事業**

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 鎌倉の観光情報をタイムリーに提供することによって、多くの観光客に鎌倉を訪れてもらうため。また、主要観光行事などの開催支援や、案内業務を適切に行うことによって、観光客に安全で快適に観光を楽しむことができるようにするため。

効果 観光客にとっては、鎌倉の魅力を堪能でき、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 観光振興支援事業
  - ・ 鎌倉花火大会や俳句&ハイク、鎌倉ビーチフェスタなどに負担金を交付し、様々な鎌倉観光の魅力伝えることに努めた。
- (2) 広報宣伝事業
  - ・ かまくら四季のみどころや観光マップなどのパンフレット類やホームページの充実を図り、観光客への適切な情報提供に努めた。さらに、誘客キャンペーンや観光資料の充実に取り組んだ。
  - ・ 着地型観光の地元への定着を図るために必要な支援事業に取り組んだ。
- (3) 観光協会支援事業
  - ・ 鎌倉市観光協会の運営や鎌倉まつり、薪能等の協会主催事業に対する支援を行い、鎌倉の観光振興に努めた。
- (4) 観光案内所運営事業
  - ・ JR鎌倉駅構内東口の観光案内所の運営を委託し、観光客に対し適切な情報提供に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 観光情報の提供充実(6-3-3-①)
- 観光プロモーションの推進(6-3-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
69,831	69,772	68,175		1,597
主な支出内訳				
・ 観光振興支援事業				
俳句&ハイク事業負担金				540
鎌倉ビーチフェスタ事業負担金				1,045
鎌倉花火大会実行委員会負担金				4,754
主要観光行事安全対策負担金				5,000
・ 広報宣伝事業				
四季のみどころ印刷製本費				1,178
課外授業ガイド印刷製本費				402
四季のみどころ作成業務委託料				840
観光マップ「鎌倉」作成業務委託料				718

観光ポスター作成業務委託料	240
ホームページ更新等業務委託料	648
課外授業ガイド作成業務委託料	0
外国語版パンフレット作成業務委託料	115
観光展出展事業等負担金	1,350
着地型観光フォローアップ事業負担金	500
・観光協会支援事業	
鎌倉市観光協会運営費等補助金	40,752
・観光案内所運営事業	
観光案内所業務委託料	9,770
主な特定財源	
・国県支出金	1,018

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 10観光振興費

◎観光振興の経費

観光施設整備事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 観光客等

意図 施設面での充実を図ることにより、観光客が安全で快適に観光できるようにするため。

効果 観光客にとっては、鎌倉の魅力を堪能でき、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

(1) 観光施設整備事業

- ・既存の観光案内板等の維持管理を行った。
- ・公衆トイレの修繕を行い清潔で安全な空間確保に努めるとともに、ハイキングコースの清掃及び安全の確保に努めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)
- 観光案内施設の整備・充実(6-3-2-①)
- 公衆トイレの整備(6-3-2-②)
- ハイキングコースの安全管理(6-3-2-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,080	15,139	12,945		2,194
主な支出内訳				
・観光施設整備事業				
公衆トイレ等維持修繕料				7,753
公衆トイレし尿処理手数料				1,322
観光案内板作成委託料				71
公衆トイレ改築工事設計業務委託料				1,155
協働型トイレ清掃委託料				0
ハイキングコース清掃・特別清掃委託料				1,008
由比ガ浜大通り公衆トイレ清掃等委託料				310
大船駅東口公衆トイレ消毒業務委託料				63
由比ガ浜大通り公衆トイレ賃借料				1,071
ハイキングコースパトロール事業負担金				180
協働型トイレ事業負担金				0
主な特定財源				
・国県支出金				3,861

(款) 40観光費 (項) 5観光費 (目) 15海水浴場費

◎海水浴場の経費

海水浴場運営事業

【 観光商工課 】

【総合計画上の位置づけ】

活力ある暮らしやすいまち  
観光:観光に高い魅力と独自性があるまち

【事業の目的】

対象 海水浴客等

意図 海水浴場を3海岸で開設するために、安全確保のための諸設備の整備、監視業務等の委託を行い、安全で快適な海水浴を楽しむことができるようにすること。

効果 海水浴客にとっては、安全に海水浴を楽しむことによる満足感の高揚が図られ、市にとっては、産業振興、雇用確保などの経済的波及効果や地域の活性化につながる。

【事業の内容】

- (1) 海水浴場運営事業
  - ・海水浴場開設に必要な電気・水道・放送設備やコースロープを整備した。
  - ・なぎさの整地、監視業務等を実施し安全確保に努めた。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
43,598	43,598	43,386		212
主な支出内訳				
・海水浴場運営事業				
海水浴場監視業務等委託料				24,726
海水浴場砂防設置・撤去及びなぎさ整地業務委託料				3,570
なぎさ整地業務委託料(台風4号対応)				2,440
放送設備及び放送塔設置委託料				1,731
コースロープ設置委託料				1,494
仮設木橋設置委託料				1,006
仮設木橋材料保管・運搬業務委託料				494
防犯灯及び監視所電灯配線設置等委託料				2,717
監視所・仮設トイレ等賃借料				4,502
海水浴場監視業務用電気・水道使用料負担金				431

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎土木管理一般の経費

土木管理運営事務

【 都市整備総務課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 部内各課

意図 事務事業の円滑な執行を行うため。

効果 事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

【事業の内容】

(1) 土木管理運営事務

- ・部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。
- ・旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
280	280	223		57
主な支出内訳				
・土木管理運営事務				
一般文具等消耗品費				223

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎土木管理一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

防災安全部総合防災課(がけ地対策担当)

都市調整部(都市調整課風致担当を除く)

都市整備部のうち都市整備総務課・道水路管理課・建築住宅課(住宅担当を除く)・作業センター

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		842,389
・ 給料	一般職	404,456
	一般職職員	99人
	再任用(短時間)	7人
・ 職員手当等		305,582
	扶養手当	14,035
	地域手当	56,057
	通勤手当	12,561
	超過勤務手当	21,535
	休日給	569
	管理職手当	11,287
	特殊勤務手当	3,272
	期末勤勉手当	162,800
	住居手当	19,255
	管理職員特別勤務手当	91
	子ども手当	760
	児童手当	3,360
・ 共済費		132,351
	市町村職員共済組合負担金	130,847
	社会保険料	919
	雇用保険料	585

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎がけ地対策の経費

がけ地対策事業

【 総合防災課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の保護を図るため。

効果 防災工事を施工し市民の保護を図る。

【事業の内容】

(1) 既成宅地等防災工事助成事業

・既成宅地等におけるがけ崩れや土砂の流出等による災害の発生を防ぐため、防災工事費及び伐採工事費の一部を助成した。

(2) 急傾斜地防災工事負担事業

・県が指定する急傾斜地崩壊危険区域内で行われる市内の急傾斜地防災工事事業費の約2割を県に支払うとともに、防災工事の促進を働きかけ指定区域の拡大を図った。

(3) 急傾斜地崩壊対策事業

・急傾斜地崩壊対策事業等の普及発達及びその促進を図った。

・防災工事費に対する借り入れ利子の半額を助成する制度については、利用がなかった。

【中事業に含まれる実施計画事業】

既成宅地等防災工事費の助成(5-1-2-①)

急傾斜地崩壊危険区域の指定及び防災工事の促進(5-1-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
98,071	98,071	85,639		12,432
主な支出内訳				
・既成宅地等防災工事助成事業				
非常勤嘱託員報酬 2人				2,056
既成宅地等防災工事補助金				33,884
既成宅地等防災工事融資預託金				1,233
・急傾斜地防災工事負担事業				
急傾斜地防災工事負担金				47,979
・急傾斜地崩壊対策事業				
神奈川県治水砂防協会負担金				265
既成宅地等防災工事利子補給金				0



(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

<b>道(水)路調査事業</b>	【 道水路管理課 】
------------------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な市民生活の基礎となる道水路整備を的確に行うための道水路の境界査定を行う外、狭あい道路を拡幅整備することにより、防災・交通等都市機能の向上を図るため。

効果 道水路との境界が未確定の箇所をなくし、市内全域の道路・水路の管理区域を確定することでの的確な整備・管理を行うとともに、道路の後退用地を確保し、拡幅することで、安全で住みよいまちが実現される。

【事業の内容】

(1) 道(水)路調査事業

- ・ 査定申請に基づき現地調査を実施した。測量委託業者を選定し、土地所有者との立会を行い境界の確定後、査定図を作成した。
- ・ 市道の狭あい道路拡幅整備事業の申請を受け、測量業務を行い、道路用地を取得した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
59,031	79,803	79,444		359
主な支出内訳				
・ 道(水)路調査事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				1,971
土地境界査定図交付事務等臨時的任用職員賃金				1,069
境界査定立会等業務委託料				57,913
境界立会 139回、打合せ協議 53回、石標埋設 115本、金属標埋設 84枚 4級基準点測量(伐採なし) 36,481.2m、同(伐採あり) 773.5m				
境界点測量 967点、査定図作成 195,085.4㎡、岡本変位観測測量 12回外 狭あい道路拡幅整備事業境界査定立会等業務委託料				12,063
境界立会 47回、打合せ協議 3回、石標埋設 1本、金属標埋設 7枚 4級基準点測量(伐採なし) 7,427.8m				
境界点測量 60点、査定図作成 23,462.6㎡外				
境界査定用境界杭等原材料費				450
狭あい道路拡幅用地等購入費				5,771
主な特定財源				
・ 国県支出金				7,532

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

<b>道路台帳整備事業</b>	【 道水路管理課 】
-----------------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路法で調製及び保管が義務付けられている道路台帳の整備を行い、道路管理上の基礎的事項を総括して把握するため。

効果 良好な道路管理が可能となり、住民サービスの向上が図れる。

【事業の内容】

(1) 道路台帳整備事業

- ・道路状況の経年変化に伴う道路台帳の補正や認定路線網図の補正を行った。
- ・亡失や位置ずれ等が生じた既存境界点や基準点の復元等及び開発等における境界点の設置を行った。
- ・道路及び水路等の境界査定図を管理・交付するためのシステムを運用した。
- ・境界復元や開発等の境界設置に使用する境界杭等を購入した。
- ・地籍調査事業(官民境界等先行調査)により、道路・水路等の官有地と民有地との境界確定を行った。
- ・前年度からの繰越明許費及び事故繰越しにより繰越した地籍調査事業(官民境界等先行調査)を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地籍調査の公共施設管理への活用(5-4-3-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
68,522	73,058	66,596		6,462
<b>主な支出内訳</b>				
・道路台帳整備事業				
法定外公共物等所管確認事務等臨時的任用職員賃金				2,157
境界杭復元等業務委託料				28,679
4級基準点測量 26,071.1m、石標埋設復元 93本 金属標埋設復元 315枚、金釘埋設復元 311本、境界点復元測量 832点 地形測量 7,161.8㎡、検査探索 2,490点 外				
道路台帳補正及び認定路線網図作成等業務委託料				10,133
基準点機能回復測量業務委託料				0
土地境界査定図管理システム機器保守委託料				1,172
水準点測量業務委託料				13,650
地籍調査事業測量等業務委託料				3,014
地籍調査事業測量等業務委託料(前年度からの繰越明許費)				2,793
地籍調査事業測量等業務委託料(前年度からの事故繰越し)				1,743
土地境界査定図管理システム賃借料				2,753
境界杭等原材料費				502
<b>主な特定財源</b>				
・国県支出金				4,030

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

道路施設管理事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路機能を良好に保持するため。

効果 多様化する生活環境や市民等の安全性・快適性の向上を図るため、常に良好で円滑な道路機能の保持を図る。

【事業の内容】

(1) 道路施設管理事業

- ・道路利用者の安全性・快適性を保ち、良好で円滑な道路機能を保持するための業務を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
127,142	128,614	110,869		17,745
主な支出内訳				
・道路施設管理事業				
大船駅東口エスカレーター等監視・清掃等業務委託料				23,436
大船駅東口ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料				1,857
大船駅西口エスカレーター監視・清掃等業務委託料				4,306
道路維持業務委託料				7,655
鎌倉駅通抜地下道清掃等委託料				467
看板作成業務委託料				185
路上放置自動車処理業務委託料				0
大船駅西口管理施設警備監視業務委託料				10,977
大船駅西口ペDESTリアンデッキ等清掃業務委託料				2,878
大船駅西口エレベーター等設備保守管理業務委託料				4,347
大船駅西口昇降機等遠隔監視システム構築業務委託料				1,911
大船駅西口公共広場等用地賃借料				42,181
大船駅東口エスカレーター電気料負担金				809
神奈川県道路利用者会議等負担金				83
道路事故賠償金 10件				901

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎道路管理の経費

街路照明灯事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活を送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 夜間等の通行車両や市民等の安全確保のため。

効果 道路の街路照明灯の良好な維持管理が図られる。

【事業の内容】

(1) 街路照明灯事業

- ・既存の街路照明灯の維持修繕等を行い、市民が安全な生活を送れるまちづくりを図った。
- ・安全な通行を確保するために街路照明灯の設置整備を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

街路照明灯の設置(5-4-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
21,867	26,785	25,948		837
主な支出内訳				
・街路照明灯事業				
市内街路照明灯電気料				21,594
街路照明灯維持修繕料				1,495
街路照明灯修繕業務委託料				2,691
街路照明灯設置業務委託料				168

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎作業センターの経費

<b>作業センター事業</b>	【 作業センター 】
-----------------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備: まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

下水道・河川: 公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民の安全性、利便性、快適性への迅速な対応を確保するため。

効果 安全で円滑な交通の確保、親しみやすい河川・緑地等の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 作業センター事業

・道路、河川、緑地等の維持補修及び側溝、管水路のしゅんせつを行った。

【事業費】

(単位: 千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
122,175	122,175	109,865		12,310
主な支出内訳				
・作業センター事業				
補修用消耗品費				2,072
作業用車両燃料費				2,500
道路管理施設等維持修繕料				19,881
作業用車両修繕料				2,411
上町屋資材置場警備委託料				107
残土処分委託料				3,634
カーブミラー設置業務委託料				4,042
高圧洗浄による排水管渠等しゅんせつ清掃業務委託料				9,012
側溝等しゅんせつ汚泥運搬処分業務委託料				3,027
道路・河川清掃等業務委託料				25,305
維持補修用重機賃借料				4,163
補修用原材料費				32,845
補修用備品購入費				122
*補修用原材料費内訳				
アスファルト合材	739.1 t		15,322 千円	
常温合材	592 袋		1,691 千円	
カーブミラー部材	102 面		2,948 千円	
グレーチング蓋	238 枚		3,253 千円	
山碎石	293.2 m <sup>3</sup>		1,355 千円	
U型側溝蓋等	595 枚		1,546 千円	
生コンクリート他	1 式		6,730 千円	
*補修班による維持補修				
アスファルト合材舗装工	1,027 m <sup>2</sup>		排水溝等新設工	55.4m
アスファルト舗装打換工	1,060 m <sup>2</sup>		カーブミラー新設・補修工	276件

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎営繕事務の経費

設計事務

【 経営企画課・建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全・快適な施設利用の促進及び維持管理費用(ランニングコスト)削減を図るため。

効果 安全・快適な施設利用、経済的な施設管理及び建物の長寿命化を図る。

【事業の内容】

(1) 設計事務

- ・建築設計積算業務に要する公的価格データの作成を委託した。
- ・建築積算システム機器の賃借及び保守を行った。
- ・公共建築物の維持保全システムを運用した。
- ・耐震化未対応である市有建築物の耐震診断等については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

公共建築物の維持保全システムの運用(0-Ⅱ-4-②)

公共建築物の耐震化(0-Ⅱ-4-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
41,168	53,248	35,327	15,374	2,547
主な支出内訳				
・設計事務				
設計業務等補助嘱託員報酬 3人				4,320
設計業務等補助嘱託員費用弁償				116
市場単価データ作成業務委託料				1,287
市有建築物の耐震診断等業務委託料				21,416
市有建築物の耐震診断等業務委託料(翌年度への繰越明許費)				0
建築積算システム機器賃借料				4,972
構造計算システム機器等賃借料				142
マイクロフィルムスキャンシステム賃借料				942
維持保全システムクラウド利用料				1,210
主な特定財源				
・国県支出金				
				2,496

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 5土木総務費

◎測定分析の経費

放射性物質測定事業

【 浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 放射性物質の測定を行い、市民生活の安全を図るため。

効果 給食食材等の放射性物質の測定を行うことにより、市民生活の安全を確保する。

【事業の内容】

(1) 放射性物質測定の実施

- ・ 学校や保育園の給食食材等の放射性物質を測定した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
4,100	4,100	3,507		593

主な支出内訳

・ 放射性物質測定業務

放射性物質測定事務臨時的任用職員賃金

2,394

放射性物質測定用消耗品費(液体窒素等)

798

放射性物質測定装置修繕料

0

食品・環境放射性物質測定装置点検委託料

315

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎都市調整の経費

都市調整運営事務

都市調整課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 計画的な土地利用によるまちづくりの推進のため。

効果 災害に強く、市民の福祉を高め、かつ環境保全に配慮した安全で快適なまちづくりの実現を図る。

【事業の内容】

(1) 都市調整運営事務

- ・鎌倉市開発事業における手続及び基準等に関する条例等に関する業務を行った。
- ・開発事業等に係る公共施設管理者の同意及び協議に基づく協議書に関する業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,413	6,413	6,207		206
主な支出内訳				
・都市調整運営事務				
事務補助嘱託員報酬 2人、同(開発等許認可指導) 1人				5,065
一般文具等消耗品費				531
ファクシミリ付複写機購入費				389
神奈川県八市開発許可研究協議会負担金				10



(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎開発審査の経費

開発審査事務	【 開発審査課 】
--------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 開発事業者等

意図 開発許可制度等を活用して、安全で住みやすい宅地の造成、秩序ある都市づくりを図るため。

効果 安全で快適な住環境の創造を図る。

【事業の内容】

(1) 開発審査事務

- ・都市計画法及び宅地造成等規制法による各種申請等の受付、審査、許可書の交付を行った。
- ・開発行為、宅地造成工事の完了検査及び検査済証の交付を行った。
- ・神奈川県開発審査会案件を付議した。
- ・開発許可等の違反に対する是正指導及び措置を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
356	356	348		8

主な支出内訳

・開発審査事務	
一般文具等消耗品費	199
開発登録簿複写、カラーコピー等印刷製本費	149
審査資料等謄写手数料	0

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎建築指導の経費

建築指導事務

【 建築指導課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 建築確認申請者等

意図 建築物の安全の確保を図るため。

効果 安心して住める建築物の確保

【事業の内容】

(1) 建築指導事務

- ・ 建築確認申請等に関する事務及び建築基準法に基づく許認可等に関する業務を行った。
- ・ 建築審査会に関する事務及び各種協議会等に関する業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
10,843	10,843	7,612		3,231

主な支出内訳

・ 建築指導事務

建築審査会委員報酬 3人	214
事務補助嘱託員報酬 2人	2,056
特定行政庁団体賠償責任保険保険料	77
特殊建築物等定期報告業務委託料	2,910
建築基準法に基づく構造計算適合性判定業務委託料	0
長期優良住宅の認定に係る技術的審査業務委託料	0
長期優良住宅等の認定に係る構造計算適合性判定業務委託料	0
建築確認支援システム機器賃借料	771
神奈川建築コンクール負担金	120
神奈川県建築物震後対策推進協議会負担金	215
日本建築行政会議等負担金	168

建築基準法に基づく確認及び許可等状況

件名	件数
建築確認	66
計画適合通知	16
建築許可	109
仮使用承認	3
道路位置指定	6
長期優良住宅認定	151

(款) 45土木費 (項) 5土木管理費 (目) 10建築指導費

◎建築指導の経費

建築相談事業

【 建築指導課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来工法で木造2階建て以下)等

意図 当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。

効果 建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 建築相談事業

- ・ 窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を助成した。
- ・ 木造住宅の耐震改修工事や危険ブロック塀等の撤去を行った場合の費用を助成した。
- ・ 共同住宅等の耐震性に関する居住者の意識の熟成を図るため、アドバイザーの派遣を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 木造住宅耐震補強への助成(5-5-3-①)
- マンション等耐震改修促進の啓発(5-5-3-②)
- 危険ブロック塀等対策への助成(5-5-3-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
24,135	39,335	31,514		7,821
主な支出内訳				
・ 建築相談事業				
耐震改修アドバイザー派遣事業謝礼				85
耐震相談業務委託料				555
危険ブロック塀等調査委託料				1,785
現地耐震診断補助金				4,760
木造住宅耐震改修工事費等補助金				23,262
危険ブロック塀等対策事業補助金				1,067
主な特定財源				
・ 国県支出金				
				10,428

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)5道路橋りょう総務費

◎道路橋りょう管理の経費

道路橋りょう管理運営事業

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

(1) 道路橋りょう管理運営事業

- ・土木積算総合システム保守及び機器等の管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
40,903	40,903	40,588		315

主な支出内訳

・道路橋りょう管理運営事業

土木積算総合システム保守委託料

9,934

工事資材単価調査委託料

245

土木積算総合システム機器賃借料

28,420

電子複写機賃借料

520

軽自動車購入費

844

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)5道路橋りょう総務費

◎道路橋りょう管理の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

防災安全部市民安全課(交通安全担当)

まちづくり景観部交通計画課

都市整備部道路課(整備担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		143,742
・ 給料	一般職	65,678
	一般職職員	18人
・ 職員手当等		54,766
	扶養手当	2,496
	地域手当	8,991
	通勤手当	1,899
	超過勤務手当	8,699
	休日給	540
	管理職手当	914
	期末勤勉手当	26,950
	住居手当	3,268
	管理職員特別勤務手当	24
	子ども手当	170
	児童手当	815
・ 共済費		23,298
	市町村職員共済組合負担金	

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

交通安全施設整備事業

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全な交通を確保し、事故防止を図るため。

効果 交通の円滑化、安全性の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 交通安全施設維持事業

- ・道路ラインの補修等を行い交通事故防止を図った。

(2) 交通安全施設整備事業

- ・交通安全施設を改修し、安全で円滑な交通を確保するとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。

市道061-000号線外の交通安全対策施設工事を行った。

市道040-000号線外の交通安全対策施設工事を行った。

市道046-138号線外の交通安全対策施設工事を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

歩道の整備(5-4-2-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
34,466	34,466	28,426		6,040
主な支出内訳				
・交通安全施設維持事業				
ガードレール塗装等維持修繕料				1,387
道路ライン等設置業務委託料				2,992
区画線4,407.6m、文字記号1,712.7m、区画線削除99.0m、交差点鋸1箇所				
・交通安全施設整備事業				
交通安全対策施設工事請負費				24,047
内訳				
今泉台四丁目19番先外(市道061-000号線外)				7,887
歩道段差等改善N=24箇所				
手広四丁目35番先外(市道040-000号線外)				7,875
歩道段差等改善N=21箇所				
梶原二丁目32番先外(市道046-138号線外)				8,285
ガードレール設置L=212.0m、車止め設置N=9箇所、薄層カラー舗装A=296.0㎡				

◎交通安全施設整備の経費

<b>交通安全対策事業</b>	【 市民安全課・道路課 】
-----------------	---------------

【総合計画上の位置づけ】

- 安全で快適な生活が送れるまち
- 地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち
- 道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 交通環境の改善を図り、関係機関等との連携により、交通安全教育をはじめ各種交通安全対策を推進し交通事故による死傷者数の減少を図るため。

効果 交通事故及び死傷者の減少、交通バリアフリー化を図る。

【事業の内容】

- (1) 交通安全対策事業
- ・あんしん歩行エリア内の舗装のカラー化等、事故削減対策を実施した。
  - ・鎌倉市の交通安全を推進するため、市内交通関係機関及び団体相互の連絡を密にし、総合的・効果的な交通安全対策を推進し、交通事故防止を図るための各種事業を実施した。
  - ・スクールゾーンの交通安全対策として、カラー舗装等を実施した。
  - ・市内有数の交通量のある富士見町駅下横断歩道に、交通誘導員を通学時間帯に配置した。
  - ・自転車のルール・マナーの向上を図るため、市内小学生全員に交通安全教育のリーフレットを配布した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- スクールゾーンの整備(5-3-3-②)
- あんしん歩行エリアの整備(5-4-2-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
27,878	29,486	27,424		2,062
主な支出内訳				
・交通安全対策事業				
交通安全教育指導員報酬 3人				4,620
自転車教室指導員謝礼				472
交通安全教育指導員費用弁償				392
交通安全教育リーフレット消耗品費				445
スクールゾーン対策業務委託料				11,788
富士見町駅下交通誘導業務委託料				568
鎌倉駅周辺地区あんしん歩行エリア整備工事請負費				2,079
大船駅周辺地区あんしん歩行エリア整備工事請負費				
大船地区の交差点手前カー舗装A=150.0㎡、鎌倉地区の歩行空間カー舗装A=76.0㎡				
鎌倉市交通安全対策協議会等補助金				7,010
主な特定財源				
・国県支出金				
				200

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)8交通安全施設費

◎交通安全施設整備の経費

放置自転車防止事業

【 交通計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
地域安全:災害対策、交通事故や犯罪などへの安全対策が進められているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 自転車等の放置防止により市民等の通行の安全、災害時の緊急活動の円滑化を図るため。

効果 駐輪場整備及び放置自転車等の警告移動を行い、市民等の通行の安全を図る。

【事業の内容】

(1) 放置自転車防止事業

- ・駐輪場への誘導及び放置自転車等に対する警告や、警告後も移動しない放置自転車等の移動を委託した。
- ・放置しづらい環境づくりのため、歩行者の通行に配慮したプランター等の設置を委託した。
- ・市が管理する駐輪場の巡回管理及び自転車等保管場所の警備を委託した。
- ・保管期間が経過した自転車等のうち、リサイクルされないものの処分を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,812	44,822	43,444		1,378

主な支出内訳

・放置自転車防止事業

放置自転車等返還業務嘱託員報酬 9人	8,536
事務補助嘱託員報酬 2人	2,056
放置自転車等防止対策業務委託料	27,856
放置自転車等保管場所警備業務委託料	237
放置自転車等廃棄処分業務委託料	230
放置自転車等防止対策看板設置委託料	423
駐輪場土地賃借料	2,369



◎道路維持の経費

<b>道路維持補修事業</b>	【 道路課 】
-----------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

(1) 道路維持補修事業

- ・市道053-101号線の既存擁壁の点検調査や詳細設計等を行い、安全で円滑な道路環境の創出を図った。
- ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、スクールゾーンの安全対策を実施した。  
市道046-000号線の道路維持修繕工事を行った。  
市道013-000号線の道路維持修繕工事を行った。  
市道055-000号線の道路維持修繕工事を行った。  
市道037-046号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・市道019-007号線については、排水施設の構造変更により日時を要したため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・市道003-032号線については、水道管移設により日時を要したため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・トンネル点検業務委託については、年度内に完了できないため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・前年度からの繰越明許費により、市道025-050号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・前年度から事故繰越しした、市道055-000号線の道路維持修繕工事を行った。
- ・前年度から事故繰越しした、市道031-013号線外の道路維持修繕工事を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
157,671	212,739	166,620	17,938	28,181
主な支出内訳				
・道路維持補修事業				
崩落土砂処分等業務委託料	8件			12,302
除雪等業務委託料				929
擁壁点検調査等業務委託料(市道053-101号線)			}	6,510
道路詳細設計等業務委託料(市道053-101号線)				
トンネル点検業務委託(市道027-000号線外)(翌年度への繰越明許費)				0
道路維持修繕工事請負費				146,879
内訳				
梶原二丁目25番先(市道046-000号線)舗装打換				18,714
舗装工A=2,113.0㎡				
七里ガ浜東三丁目19番先(市道013-000号線)舗装打換				12,159
舗装工A=1,153.0㎡				

山崎1084番地先(市道055-000号線)舗装打換 舗装工A=644.0㎡、排水工L=16.5m	14,516
浄明寺三丁目9番先(市道037-046号線)舗装・排水整備 舗装工A=313.0㎡、排水工L=99.1m	7,634
外6件 舗装・排水整備等	46,464
腰越五丁目14番先(市道019-007号線)(翌年度への事故繰越し) 排水工L=77.1m	2,335
材木座二丁目6番先(市道003-032号線)(翌年度への事故繰越し) 舗装工A=209.0㎡、排水工L=105.0m	3,200
鎌倉山三丁目13番先(市道025-050号線)(前年度からの繰越明許費) 階段設置L=40.8m、雨水管布設L=29.7m	20,452
台三丁目11番先(市道055-000号線)(前年度からの事故繰越し) 舗装工A=747.0㎡、排水工L=178.2m	15,315
佐助二丁目12番先外(市道031-013号線外)(前年度からの事故繰越し) 舗装工A=333.0㎡、側溝蓋改修L=132.5m、防護柵設置L=104.7m	6,090

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)15道路新設改良費

◎道路新設改良の経費

<b>道路新設改良事業</b>	【 道路課 】
-----------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び電線類の地中化により都市景観等の生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 道路新設改良事業

- ・ 歩行者や自転車、自動車が安全に通行できるよう、道路の拡幅・改良等を行い、質の高い道路環境の創出を図った。  
市道032-000号線小町通りの電線共同溝工事を委託した。
- ・ 岩瀬今泉周辺の交通対策として、安全で安心な歩行空間を確保するため、砂押川沿い道路の歩道整備に係る調査設計等を行った。
- ・ 大規模住宅地等の道路改良整備工事を行った。
- ・ 市道037-000号線外については、排水工の工法を変更し施工に日時を要したため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・ 市道032-000号線については、電線共同溝工事終了から連続して工事を進めるため、年度内に工事契約を行い翌年度へ繰越しを行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 電線類の地中化(5-4-2-②)
- 道路の改良整備(5-4-2-③)
- 岩瀬今泉周辺交通対策(既存道)(5-4-2-⑧)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
195,095	279,255	172,625	56,173	50,457
主な支出内訳				
・ 道路新設改良事業				
小町通り電線共同溝工事委託料				44,719
引込連系工事、管路、特殊部設置及び柱体工事				
砂押川沿い歩道調査設計等委託料				7,140
測量業務一式、道路予備設計業務一式、既設護岸調査点検業務一式				
既設護岸根入調査業務一式				
大規模住宅地等道路改良整備工事請負費				58,634
二階堂792番地先(市道037-000号線外)(翌年度への事故繰越し)				11,600
舗装工A=2,242.0㎡				
外2件				47,034
小町通り景観舗装道路新設改良工事請負費(市道032-000号線)				27,900
景観/遮熱性舗装A=2,345.0㎡(翌年度への繰越明許費)				
小町通り電線共同溝工事に伴う支障物件移転補償金				34,232
電気				

主な特定財源	
・ 国県支出金	24,300
・ 地方債	67,700

(款)45土木費 (項)10道路橋りょう費 (目)20橋りょう維持費

◎橋りょう維持の経費

<b>橋りょう維持補修事業</b>	【 道路課 】
-------------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 市民等の安全性、利便性を確保するため。

効果 安全な交通を確保するための施設保全を図る。

【事業の内容】

- (1) 橋りょう維持補修事業
- ・小袋谷跨線橋定期点検を委託し実施した。
  - ・劣化が著しい箇所補修等により、安全な交通を確保した。
  - ・橋りょうの長寿命化修繕計画を策定した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

生活道路の整備(小袋谷跨線橋)(5-4-2-⑥)  
橋りょうの長寿命化修繕計画の策定(5-4-2-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
20,074	10,634	10,537		97
主な支出内訳				
・ 橋りょう維持補修事業				
七久保歩道橋外高欄等維持修繕料				3,801
腐食部補修一式、鋼部材修繕一式				
小袋谷跨線橋定期点検調査委託料				2,396
橋りょう点検調査一式、簡易目視点検調査一式				
橋りょう修繕計画策定業務委託料				1,757
橋りょう長寿命化修繕計画策定60橋				
津595番地先橋りょう維持修繕等工事請負費				2,583
橋りょう地覆補修工一式、高欄設置一式				
主な特定財源				
・ 国県支出金				941

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 5河川総務費

◎河川管理の経費

河川管理運営事業

【 道水路管理課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 道路・河川維持管理協力団体等

意図 良好な市道・河川管理事業の円滑な推進を図るため。

効果 協力団体と連携し、良好な水辺環境を目指し、親しまれる川づくりを図る。

【事業の内容】

(1) 河川管理運営事業

・河川の良好な環境を維持するため、清掃等維持管理作業及び環境実態調査等を協力団体に依頼した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,489	1,489	1,488		1

主な支出内訳

・河川管理運営事業

河川維持管理協力団体報償費

240

浸水対策排水施設用地土地賃借料

1,229

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 5河川総務費

◎河川管理の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

都市整備部下水道河川課

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		40,115
・ 給料	一般職	18,902
	一般職職員	4人
	再任用(短時間)	1人
・ 職員手当等		15,381
	扶養手当	1,194
	地域手当	2,745
	通勤手当	586
	超過勤務手当	1,126
	休日給	45
	管理職手当	956
	期末勤勉手当	7,648
	住居手当	946
	管理職員特別勤務手当	35
	子ども手当	40
	児童手当	60
・ 共済費		5,832
	市町村職員共済組合負担金	5,758
	雇用保険料	74

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 10河川維持費

◎河川・雨水施設維持の経費

河川維持補修事業	【 下水道河川課 】
----------	------------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るとともに、市民等に親しまれる河川づくりを進めるため。

効果 河川護岸の崩壊等を未然に防ぐことや、市民等に親しまれる河川づくりを目指す。

【事業の内容】

- (1) 河川維持補修事業
  - ・ 準用河川の護岸の補強・修繕工事を行った。  
準用河川新川(梶原200番地先)
  - ・ 準用河川等のしゅんせつを行った。
  - ・ 神奈川県下の治水及び利水に関する企画、調査及び研究や治水及び利水事業の促進を目的として、県内市町村で構成されている、神奈川県河川協会へ参加した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

- 準用河川の整備・修繕(5-6-2-①)
- 雨水施設の修繕(5-6-2-②)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
15,835	15,775	7,550		8,225
主な支出内訳				
・ 河川維持補修事業				
河川管理施設突発的維持修繕料				398
滑川維持修繕料				1,926
準用河川等しゅんせつ業務委託料				2,669
準用河川維持修繕工事請負費(準用河川新川(梶原200番地先)) 護岸補強工 L=20.0m				2,445
神奈川県河川協会負担金				112
地下埋設物移設等補償金				0



(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 10河川維持費

◎河川・雨水施設維持の経費

雨水施設維持管理事業

【 下水道河川課 ・ 浄化センター 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大雨や台風による洪水や溢水から市民等を守るため。

効果 雨水調整池やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持する。

【事業の内容】

(1) 雨水施設維持管理事業

- ・ 雨水調整池(玉縄・台・腰越・笛田・ハイランド・岡本・城廻)やゲート類等の雨水排水施設について、良好な状態を保持するため、定期点検等を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,284	18,284	14,172		4,112
主な支出内訳				
・ 雨水施設維持管理事業				
雨水調整池光熱水費				4,262
雨水調整池管理施設等突発的維持修繕料				2,850
雨水調整池自家用電気工作物等点検手数料				1,369
フラップゲート点検委託料				588
雨水調整池巡回点検委託料				930
台調整池計装設備点検等委託料				2,942

(款) 45土木費 (項) 15河川費 (目) 15河川改良費

◎河川改良の経費

河川改良事業

【 下水道河川課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

下水道・河川:公共下水道の整備や良好な水辺環境の実現が図られているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 雨水排水施設整備による浸水被害の防御のため。

効果 浸水被害の解消を図る。

【事業の内容】

(1) 河川改良事業

- ・滑川水系の県から移管を受けた区域について、護岸等既存施設の修繕等を適切に行うために現況調査を実施した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

普通河川・水路の整備(5-6-2-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,992	8,992	5,828		3,164
主な支出内訳				
・河川改良事業				
滑川の施設等現況調査業務委託料				
主な特定財源				
・国県支出金				

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

都市計画運営事務

【 都市計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市全域の土地利用・まちなみ

意図 都市の健全な発展と秩序ある整備を図り、もって市域の均衡ある発展と公共の福祉の増進に寄与するため。

効果 まちづくりの基本理念である「くらしに自然・歴史・文化がいきる古都鎌倉」(鎌倉市都市マスタープランより)を目指す。

【事業の内容】

(1) 都市計画運営事務

- ・都市計画に関する事項の調査・審議のため都市計画審議会を運営するとともに、都市計画の決定、都市計画事業の認可等の手続を行った。
- ・都市計画情報を更新し、都市計画図等の印刷を行った。
- ・都市計画道路の見直しに係る都市計画変更図書を作成した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

都市計画道路の見直し(5-4-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
8,959	8,959	7,776		1,183
主な支出内訳				
・都市計画運営事務				
都市計画審議会委員報酬 14人				326
事務補助嘱託員報酬 1人				685
都市計画図等印刷製本費				2,499
鎌倉都市計画道路都市計画変更図書作成業務委託料				2,153
鎌倉市都市計画関連データ等修正業務委託料				808
鎌倉市都市計画業務支援システム保守業務委託料				441
神奈川県都市計画実務担当者連絡協議会負担金				10

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

環境部環境保全課(環境保全担当)  
まちづくり景観部のうち都市計画課・交通計画課・都市景観課・みどり課  
都市調整部都市調整課(風致担当)  
都市整備部のうち道路課(国県道対策担当)・公園課  
拠点整備部(再開発課拠点整備総務担当及び再開発担当を除く)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費	485,497
・ 給料 一般職	225,929
一般職職員 58人	
・ 職員手当等	184,437
扶養手当	9,444
地域手当	32,038
通勤手当	6,427
超過勤務手当	15,259
休日給	448
管理職手当	10,415
期末勤勉手当	92,773
住居手当	12,803
管理職員特別勤務手当	210
子ども手当	810
児童手当	3,810
・ 共済費	75,131
市町村職員共済組合負担金	

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

<b>都市景観形成事業</b>	【 都市景観課 】
-----------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち  
都市景観:歴史・文化・みどりにより風格ある都市景観が醸成されたまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 景観法の活用により、開発行為や建築行為等に対する景観誘導、市民・事業者への普及・啓発・支援、行政の先導的な都市景観形成事業の推進を図るため。

効果 古都としての風格を基調とし、地域の特性を生かした都市景観を守り、つくり、育てることにより、潤いと安らぎのある快適なまちづくりを図る。

【事業の内容】

- (1) 都市景観形成事業
- ・ 古都としての風格ある都市景観形成を推進するための調査や助成などを行った。
  - ・ 景観計画及び景観地区等の制度を運用し良好な景観の形成を推進した。
  - ・ 鎌倉市屋外広告物条例の制定を含めた適正な規制・誘導策の検討及び普及啓発を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

都市連携の推進(0-Ⅱ-6-①)  
景観計画の運用(3-2-1-①)  
屋外広告物の適正な規制・誘導(3-2-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
6,112	6,112	5,476		636
主な支出内訳				
・ 都市景観形成事業				
景観審議会委員報酬 10人				226
景観重要建築物等調査委託料				0
違反広告物除却業務委託料				415
行政刊行物販売委託料				33
景観重要建築物等助成金				3,650
景観形成協議会活動助成金				0

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

風致地区事務	【 都市調整課 】
--------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

都市景観:歴史・文化・みどりにより風格ある都市景観が醸成されたまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市の風致の維持、歴史的風土の保存、緑地の保全を図るため。

効果 「鎌倉」の環境の維持

【事業の内容】

(1) 風致地区事務

- ・ 風致地区内行為許可事務、近郊緑地特別保全地区内行為許可事務及び特別緑地保全地区内行為許可事務を行った。
- ・ 歴史的風土保存区域内行為届出受理事務及び近郊緑地保全区域内行為届出受理事務を行った。
- ・ 古都保存法の啓発及び歴史的風土特別保存地区での行為許可、制限等について周知を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,401	1,401	1,400		1
主な支出内訳				
・ 風致地区事務				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
風致地区内標柱修繕				199
古都保存連絡協議会負担金				50
主な特定財源				
・ 国県支出金				160

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

国県道対策運営事務

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画法、道路法等に基づき国県道の整備・改良を促進し、良好な道路交通機能等の向上を達成するため。

効果 交通渋滞の緩和、災害時を含む緊急活動の円滑化を図る。

【事業の内容】

(1) 国県道対策運営事務

- ・小袋谷跨線橋の架け替えを含む腰越大船線事業に関する協議・調整を行った。
- ・国・県等が施工する都市計画道路等に関する協議・調整を行った。
- ・供用中の国・県道に関する住民要望に対応した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,203	1,203	1,180		23
主な支出内訳				
・国県道対策運営事務				
事務補助嘱託員報酬 1人				1,028
事務補助嘱託員費用弁償				50
首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会負担金				40
関東国道協会負担金				40

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

国県道対策事業

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため。

効果 神奈川県及び市民等との連絡調整を行うことにより、都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の円滑な実施を図る。

【事業の内容】

(1) 国県道対策事業

- ・都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業の促進を図るため、神奈川県に依頼を受けて、鎌倉市土地開発公社所有地の一部を事業用地及び代替用地として取得した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
25	102,728	102,727		1

主な支出内訳

・国県道対策事業

一般文具等消耗品費

25

都市計画道路腰越大船線(大船立体)事業用地及び代替用地取得

102,702



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎都市計画一般の経費

道路整備計画等運営事務

【 道路課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち  
道路整備:歩行者と車が共存できる交通環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 道路網の整備を図ることにより、都市環境の改善に寄与するため。

効果 交通の円滑化、安全の確保等、交通環境の向上及び都市景観等の生活環境の向上を図る。

【事業の内容】

(1) 道路整備計画等運営事務

- ・神奈川県都市計画街路事業促進協議会に加入し、その活動により都市計画道路のあり方について検討を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
95	95	75		20

主な支出内訳

・道路整備計画等運営事務

神奈川県都市計画街路事業促進協議会負担金

75

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎市街地整備の経費

市街地整備運営事業

再開発課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 大船駅周辺整備事務所(拠点整備部)

意図 部内の庶務及び施設の維持管理を行うため。

効果 事務事業の進行管理、連絡調整及び適切な施設管理を行うことにより、良好な職場環境の確保を図る。

【事業の内容】

(1) 市街地整備運営事業

- ・部内の予算要求、執行管理、予算・決算・監査に関する事項を行った。
- ・施設の適正な維持管理を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,349	3,351	2,617		734
主な支出内訳				
・市街地整備運営事業				
一般文具等消耗品費				249
車両燃料費				160
光熱水費				682
維持修繕料				390
備品修繕料				0
車両修繕料				146
電信料				273
消防設備点検手数料				15
火災等保険料				73
警備業務委託料				78
清掃業務委託料				172
FAX・コピー複合機保守点検業務委託料				346
NHK放送受信料等				26
自動車重量税				7

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎拠点整備の経費

古都中心市街地整備事業

再開発課

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 豊かな歴史的遺産と良好な自然環境を活かし、市民・来訪者が快適に共存できる風格と活力ある古都鎌倉の顔を再生・創造するため。

効果 鎌倉駅西口周辺地区では、駅前広場、交差点改良等の整備を進め、多くの市民・来訪者が快適に共存できる古都鎌倉の玄関口を整備する。

【事業の内容】

(1) 古都中心市街地整備事業

・ 鎌倉駅西口周辺地区の駅前広場整備や建物共同化の実現に向け、関係権利者や関係機関との協議等を行った。

(2) 古都中心市街地整備事務

・ 事業の運営に必要となる資料作成等を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
137	137	127		10
主な支出内訳				
・ 古都中心市街地整備事務				
一般文具等消耗品費				127
陽画等印刷製本費				0

◎拠点整備の経費

深沢地域整備事業

【 深沢地域整備課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉駅周辺、大船駅周辺と並ぶ第三の都市拠点の形成を図るため。

効果 全市的な課題や少子高齢化社会に対応したまちづくりが実現する。

【事業の内容】

(1) 深沢地域整備事業

- ・土地利用計画(案)を基に、事業認可申請図書等を作成するため、基本設計及び工事展開、移転計画等の検討を行った。
- ・まちづくりの指針となる「深沢地区まちづくりガイドライン(案)」の作成を行った。
- ・一体的なまちづくりに向けた官民連携手法検討及び都市基盤施設等への官民連携手法の検討を民活手法検討調査業務として行った。
- ・事業用地における土壌汚染調査を行った。
- ・土木積算総合システムの保守業務を行うとともに、機器を賃借した。
- ・「湘南地区整備連絡協議会」の運営を行った。
- ・湘南地区整備連絡協議会において実施した過年度調査結果を基に、新駅設置の可能性に係る検討業務の負担を行った。

(2) 深沢地域整備事務

- ・既を取得した用地の管理を行った。
- ・市街地整備についての情報収集を行うため、市街地整備促進協議会に参加した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

深沢地域国鉄跡地周辺の整備(5-2-1-⑩)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
144,891	99,823	82,320		17,503
主な支出内訳				
・ 深沢地域整備事業				
民活手法検討調査業務企画等提案型契約審査会委員報酬 3人				96
深沢地区まちづくりガイドライン策定委員会委員報酬 14人				250
技術アドバイザー報償費				68
民間等事業者選定委員会謝礼				0
土壌汚染飛散防止等対策消耗品費				281
土木積算総合システム保守業務委託料				322
深沢地区事業化推進検討業務委託料				43,575
深沢地区公民連携方策等検討業務委託料				8,925
民活手法検討調査業務委託料				15,960
土壌汚染調査業務委託料				4,198
土木積算総合システム機器賃借料				40
民活手法検討調査業務企画等提案型契約審査会会場使用料				25
湘南地区整備連絡協議会負担金				100

村岡・深沢地区拠点づくり検討調査負担金	3,400
・ 深沢地域整備事務	
事務補助嘱託員報酬 2人	2,056
事務補助嘱託員費用弁償	61
一般文具等消耗品費	229
陽画等印刷製本費	12
深沢地域取得済用地管理業務委託料	2,672
市街地整備促進協議会負担金	50
主な特定財源	
・ 国県支出金	26,000

◎大船駅周辺整備の経費

周辺整備事業	【 再開発課 】
--------	----------

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅周辺地区都市(まち)づくり基本構想に定める地区の将来像の実現に向けてまちづくりを進めていくため。

効果 ①商業拠点の形成と都市機能の強化による賑わいのあるまち②優しさと快適さを備えた魅力ある都市環境を創造するまち③活力に溢れ暮らしに文化の香りたようまちを創造する。

【事業の内容】

(1) 周辺整備事業

- ・大船駅東口、西口のエレベーター等、管理施設の一体的な監視システムの構築を行った。
- ・砂押川沿い桜保全再生計画に基づく、住民主体の保全再生活動の支援を行った。
- ・前年度からの繰越明許費により大船駅東口バリアフリー化に向けたエレベーター等の設置に支障となるインフラ管切回し費用の補償を行い、整備工事を進めた。

(2) 周辺整備運営事業

- ・大船駅周辺地区のまちづくりを進めるにあたっての課題等に対する解決方策の検討を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

駅の拡充整備(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑤)

鎌倉芸術館周辺地区のまちづくり(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑦)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,842	43,840	42,885		955
主な支出内訳				
・周辺整備事業				
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務専門員報償費				36
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援業務用消耗品費				18
大船駅東口エレベーター等電気料				0
大船駅東口エレベーター電信料				0
鎌倉芸術館周辺地区まちづくり活動支援樹木管理委託料				270
大船駅東西監視システム構築業務委託料				11,235
大船駅東口エレベーター等清掃業務委託料				0
駅ビルインフラ管切回し補償費(前年度からの繰越明許費)				28,995
・周辺整備運営事業				
事務補助嘱託員報酬 2人				2,056
まちづくり協議会(3地区)専門委員報償費				48
事務補助嘱託員費用弁償				36
まちづくり協議会(3地区)用等消耗品費				37
カラープリンター用消耗品費				81
土木積算プリンター用消耗品費				73



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎大船駅西口整備の経費

西口整備事業

【 再開発課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

市街地整備:まちづくりが計画的に進められていて、生活しやすい市街地が形成されているまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 大船駅西口駅前の円滑な交通機能の確保、市民等の利便性と安全性の向上を図るため。

効果 ①歩行者と車両分離による安全性と快適性を確保する②バス停の集約化を図る③駅前の渋滞解消を図る。

【事業の内容】

(1) 西口整備事業

- ・「鎌倉市域における整備計画」に基づき整備したペDESTリアンデッキ及び交通広場等の整備後の事業効果の検証を行った。
- ・平成24年7月から大船駅東西エスカレーター、エレベーター等の遠隔監視システムの運用を開始したことにより、不用となる既設エスカレーターの監視ケーブル等を撤去した。

(2) 西口整備運営事業

- ・大船駅西口整備事業の運営に必要となる資料作成等を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

大船駅西口整備事業(大船駅周辺整備構想)(5-2-1-⑨)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
7,196	4,256	4,147		109
主な支出内訳				
・西口整備事業				
大船駅西口整備事業効果検証業務委託料				2,867
大船駅西口エスカレーター監視ケーブル等撤去業務委託料				1,250
ケーブル架線東電柱等使用料				15
・西口整備運営事業				
事務用消耗品費				15
陽画等印刷製本費				0



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑政運営事業

みどり課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 緑の基本計画に沿った施策展開による計画を実現するため。

効果 緑の基本計画に基づき、種々の施策を展開し、緑豊かな都市環境の形成と市民の安全・快適な生活の確保を図る。

【事業の内容】

(1) 緑政運営事業

- ・緑の保全、創造等、緑政の重要事項に対して方向付けを行うため緑政審議会を開催した。
- ・(仮称)上町屋特別緑地保全地区については、区域の確定ができず、都市計画決定図書作成は行わなかった。
- ・特別緑地保全地区に指定した区域内に都市緑地法に基づき標識を設置する業務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑の基本計画の推進(3-1-1-①)

特別緑地保全地区等の指定の推進(3-1-1-③)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
2,784	2,784	1,299		1,485
主な支出内訳				
・緑政運営事業				
緑政審議会委員報酬 12人				246
緑化推進専門委員報酬 1人				408
上町屋地区都市計画決定図書作成業務等委託料				0
特別緑地保全地区標識設置業務委託料				170
森林協会等負担金				212

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑地維持管理事業

公園課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。

効果 より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 緑地維持管理事業

- ・階段手すりなど管理施設老朽化に伴う修繕を行った。
- ・緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。
- ・大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置工事を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
33,435	39,018	37,659		1,359
主な支出内訳				
・ 緑地維持管理事業				
管理施設維持修繕料				3,998
緑地維持管理委託料				28,063
(稲村ガ崎1-1号緑地外75箇所 除草工146,723㎡)				
緑地維持管理工事請負費				3,234
((仮称)釈迦堂緑地 落石防止網設置工A=192㎡)				
緑地に関する損害賠償金				1,568

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

<b>緑地取得事業</b>	【 みどり課 】
---------------	----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 緑の基本計画に基づく保全すべき緑地や、特別緑地保全地区内の土地の所有者

意図 都市緑地法に基づく買い入れの申出に伴う取得及び法指定前の緑地保全の緊急対応のため。

効果 保全すべき緑地を確保する。

【事業の内容】

(1) 緑地取得事業

・特別緑地保全地区の指定に必要な土地の取得を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑地確保施策の推進(3-1-1-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
95,500	95,451	93,574		1,877
主な支出内訳				
・緑地取得事業				
(仮称)上町屋特別緑地保全地区不動産鑑定評価業務委託料				299
(仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価業務委託料				368
(仮称)上町屋特別緑地保全地区土地購入費				92,907
主な特定財源				
・国県支出金				30,968
・地方債				55,700

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

<b>緑化啓発事業</b>	【 みどり課 】
---------------	----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。

効果 緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。

【事業の内容】

(1) 緑化啓発事業

- ・市民との連携による緑の環境づくりを推進するため、緑の学校、緑のレンジャー等の緑化啓発事業に関する業務を委託した。
- ・敷地が道路に接する部分を新たに緑化する者に補助金を交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,536	5,536	5,424		112
主な支出内訳				
・緑化啓発事業				
緑化啓発に関する業務委託料				3,481
<委託業務内容>				
○緑の学校の企画・運営等				
(参加者数=50名 開催回数=10回(延345名))				
○緑のレンジャー(ジュニア)の企画・運営等				
(参加者数=40名 開催回数=11回(延284名))				
○緑のレンジャー(シニア)の企画・運営等				
(参加者数=14名 開催回数=11回(延101名))				
○緑のレンジャー自主グループの支援・育成等				
(参加者数=延281名 開催回数=18回)				
まち並みのみどりの奨励事業補助金				1,645
件数=25件 総延長=310.3m				

◎緑政の経費

街路樹維持管理事業 【 公園課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 街路樹の健全な生育等を促し、緑豊かな道路空間の形成とまち並みを整え、市民との協働により適切な管理を行うため。

効果 まち並みを整えるとともに潤いある道路空間を提供し、公園緑地等と連携したみどりのネットワークの形成が図れる。

【事業の内容】

(1) 街路樹維持管理事業

- ・街路樹を市民自らが守り育てる活動を行っている街路樹愛護会を支援するため、報償金の支給や花苗の配布を行った。
- ・街路樹の維持管理を委託した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
17,915	17,138	16,872		266
主な支出内訳				
・街路樹維持管理事業				
街路樹愛護会報償費 22団体				1,400
大船駅東口花壇維持管理委託料				1,019
街路樹維持管理委託料				13,383
〔 荏柄天神街路外57路線除草28,310㎡ 低木刈込8,240㎡ 〕				
〔 市役所前街路外15路線 冬期剪定776本 外 〕				
街路樹植替委託料				391

◎緑政の経費

**樹林維持管理事業** 【 公園課 】

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 良好な状態の樹林地を保育しようとするため。

効果 樹木の健全な生育と生態系を含む豊かなみどり空間を市民に提供する。

【事業の内容】

(1) 樹林維持管理事業

- ・対象樹林地を6分割し、毎年度1地区づつ順番に、枝払いや枯損木・倒木の処理、除間伐などの業務を委託した。
- ・平成24年度は、大町・材木座(雪ノ下四・五丁目、小町三丁目、大町一・三～七丁目、材木座二・四・六丁目)地区を実施した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,500	13,500	12,416		1,084
主な支出内訳				
・ 樹林維持管理事業 樹林維持管理委託料				12,416

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

緑地保全事業

みどり課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 美観上優れた樹木・樹林・生垣の指定や、秩序ある市街地形成に必要な樹林地に対し、所有者の同意を得て、緑地保全契約を締結して保全するため。

効果 貴重な歴史的遺産と融合した緑地や豊かな自然環境を保全する。

【事業の内容】

(1) 緑地保全基金積立金

・寄附金等を緑地保全基金に積み立てた。

(2) 保存樹林等奨励事業

・保存樹林、樹木、生垣に対して奨励金を交付し、所有者に対して支援した。

・市街化区域にある緑地を保全するため、土地所有者と緑地保全契約を締結し奨励金を交付した。

・緑の基本計画に沿って確保した緑地のうち、荒廃が進む恐れのある樹林地等を質的に向上させるための整備業務を委託した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

緑地確保施策の推進(3-1-1-④)

緑地保全基金の積立て(3-1-1-⑥)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
47,499	50,756	45,682		5,074
主な支出内訳				
・緑地保全基金積立金				
緑地保全基金寄附積立金				4,061
・保存樹林等奨励事業				
確保緑地の適正整備委託料				2,720
保存樹林奨励補助金				17,422
201件 2,670,568㎡				
保存樹木奨励補助金				614
66件 341本				
保存生垣奨励補助金				929
123件 10,435㎡				
緑地保全契約奨励補助金				16,241
132件 678,544㎡				

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎緑政の経費

風致保存会助成事業

みどり課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 鎌倉の歴史的景観と豊かな自然環境を後世に伝えるために活動している(公財)鎌倉風致保存会の組織の充実を図り、自主的運営の強化を図るため。

効果 会員(市民等)と連携した緑の環境づくりを図る。

【事業の内容】

(1) 風致保存会助成事業

- ・風致保存会を運営するための補助金を交付した。
- ・鎌倉市風致保存基金に積み立てた一般からの寄附金を同会へ寄附金として交付した。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
13,945	13,945	12,945		1,000
主な支出内訳				
・風致保存会助成事業				
風致保存会運営費補助金				12,745
風致保存会寄附金				100



(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎交通政策の経費

交通環境整備事業

【 交通計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

(1) 交通環境整備事業

- ・市内の交通量を把握し交通対策上の基礎資料とするため、市内主要交差点等において、一般交通量及び渋滞状況調査並びに資料収集を行った。
- ・「パークアンドライド」及び「鎌倉フリー環境手形」について、交通関係事業者との調整を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
5,047	4,367	4,100		267
主な支出内訳				
・交通環境整備事業				
交通量調査業務委託料				1,187
渋滞統計システム導入業務委託料				1,512

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎交通政策の経費

交通体系整備事業

【 交通計画課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

総合交通:人と公共交通に快適なまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 安全で快適なまちをめざした交通環境をつくりだすため。

効果 公共交通機関における利便性の向上を図るとともに、慢性化する交通渋滞の解消や交通事故の減少を図る。

【事業の内容】

(1) 交通体系整備事業

- ・鎌倉地域の休日の交通渋滞を解消するために市民・交通事業者・関係行政機関等で構成する「鎌倉市交通計画検討委員会」を開催し、市と地域住民・関係機関との協働による安全で快適な歩行環境の実現に向け、策定後経年した地区交通計画を検証した。

【中事業に含まれる実施計画事業】

地区交通計画の策定(5-3-1-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
14,601	8,701	8,399		302
主な支出内訳				
・交通体系整備事業				
交通計画検討委員会委員報酬 23人				522
交通政策専門員謝礼				0
鎌倉地域地区交通計画支援業務委託料				7,875
(仮)交通需要管理検討委員会業務委託料				0

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 5都市計画総務費

◎海浜の経費

<b>海浜保全事業</b>	【 環境保全課 】
---------------	-----------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 海浜の保全と活用を図るため。

効果 ・樹林地・河川・海浜を一体としたネットワークにおいて海浜の環境と景観の保全を図る。  
・安全で快適に過ごせる空間づくりと海浜の活用を図る。

【事業の内容】

(1) 海浜保全事業

・海浜保全に係る業務、神奈川県・鎌倉市・藤沢市・茅ヶ崎市サーフ90ライフセービング支援業務を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
540	540	402		138

主な支出内訳

・海浜保全事業

既存車止め等維持修繕料

29

海岸の障害物処分等業務委託料

0

サーフ90ライフセービング事業等負担金

330

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

公園運営事業

公園課

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園運営事業

- ・ 散在ガ池森林公園、鎌倉広町緑地に都市公園等緑化推進専門委員を配置し、樹木育成調査及び樹木病虫害防止の調査を行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
243	243	243		0
主な支出内訳				
・ 公園運営事業				
都市公園等緑化推進専門委員報酬 2人				136
全国都市公園整備促進協議会負担金				42
神奈川県公園緑地行政連絡協議会負担金				10
日本公園緑地協会負担金				55

(款) 45土木費 (項) 20都市計画費 (目) 20公園費

◎公園の経費

公園維持管理事業	【 公園課 】
----------	---------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な維持管理を図るため。

効果 適確な施設管理を行うことにより良質な公園の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園維持管理事業

- ・ 樹木剪定、草刈、小規模な修繕など良好な公園の維持管理を図るための業務を指定管理者に委託した。
- ・ 経年劣化により撤去した遊具などの交換及び市民要望による公園施設(水飲み等)の設置等を行い、より市民ニーズに対応した公園の整備を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

街区公園の整備(3-1-2-⑤)

都市計画公園等の運営(3-1-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
281,045	281,045	279,185		1,860
主な支出内訳				
・ 公園維持管理事業				
大規模維持修繕料				
(鎌倉海浜公園由比ガ浜地区江ノ電車両修繕、さくら青少年広場防球ネット修繕外)				
都市公園(笛田公園を除く)指定管理料((公財)鎌倉市公園協会)				
都市公園(笛田公園)指定管理料(三菱電機ライフサービス(株)湘南支社)				
公園施設設置委託料(鎌倉海浜公園由比ガ浜地区外)				
崩落土処分等委託料				
児童遊園等管理委託料				
児童遊園等土地賃借料(ふじみ児童遊園、山崎子どもの広場外)				
梶原六本松公園土地賃借料				
指定管理者リスク分担金(笛田公園を除く)				
指定管理者リスク分担金(笛田公園)				
水道利用加入金				
				138

◎公園の経費

<b>公園整備事業</b>	【 公園課 】
---------------	---------

【総合計画上の位置づけ】

都市環境を保全・創造するまち

みどり:豊かな自然や自然的景観を大切に保全するとともに、市民がみどりとふれあえるまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 公園緑地等の適切な整備を図るため。

効果 公園緑地等の良好な環境の形成を図る。

【事業の内容】

(1) 公園整備事業

- ・鎌倉広町緑地の供用開始に向けて、都市計画事業認可申請書類作成等を行った。
- ・七里ガ浜東地区内街区公園のワークショップにおける再整備計画案に基づく再整備については、年度内の完了が困難なため、翌年度へ繰越しを行った。
- ・(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地の整備として、用地取得に向けた業務を進めた。
- ・(仮称)扇湖山荘の整備として、防災工事に向けた調査等と庭園の維持管理を行った。

(2) 公園用地取得事業

- ・鎌倉広町緑地、(仮称)山崎・台峯緑地、(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地用地を取得し、早期開園を目指した。
- ・いわせ下関青少年広場を防災公園として整備するため、独立行政法人都市再生機構による防災公園街区整備事業を進めた。

【中事業に含まれる実施計画事業】

(仮称)山崎・台峯緑地の整備(3-1-2-①)

街区公園の整備(3-1-2-⑤)

鎌倉広町緑地の整備(3-1-2-⑥)

岩瀬下関公園の整備(3-1-2-⑧)

(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地の整備(3-1-2-⑨)

(仮称)山ノ内宮下小路2号緑地の整備(3-1-2-⑩)

(仮称)扇湖山荘の整備・活用(3-1-2-⑪)

都市計画公園等の運営(3-1-3-①)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
1,669,693	1,292,873	1,253,252	5,960	33,661
主な支出内訳				
・公園整備事業				
(仮称)山崎・台峯緑地樹林管理等業務委託料				3,966
鎌倉広町緑地維持管理等業務委託料				3,899
鎌倉広町緑地都市計画事業認可申請書類作成業務委託料				1,543
山ノ内宮下小路2号緑地用地測量・台帳整備業務委託料				847
山ノ内宮下小路2号緑地都市計画決定図書作成業務委託料				} 1,155
山ノ内宮下小路2号緑地都市計画事業認可図書作成業務委託料				
(仮称)扇湖山荘実施設計策定業務委託料				} 4,725
(仮称)扇湖山荘用地測量業務委託料				
(仮称)扇湖山荘地質調査業務委託料				
(仮称)扇湖山荘樹林整備委託料				3,982
七里ガ浜東地区街区公園再整備工事請負費(翌年度への事故繰越し)				3,900

・公園用地取得事業	
(仮称)山崎・台峯緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料	966
鎌倉広町緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料	525
(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地用地不動産鑑定評価等業務委託料	389
時点修正意見書作成業務委託料	21
(仮称)山崎・台峯緑地用地購入費	501,159
鎌倉広町緑地用地購入費	255,659
(仮称)山ノ内東瓜ヶ谷緑地用地購入費	185,454
独立行政法人都市再生機構事業負担金	284,206
主な特定財源	
・国県支出金	289,769
・地方債	785,300

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎市営住宅一般の経費

市営住宅管理運営事業

【 建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 住宅に困窮している市民及び市営住宅入居者

意図 市営住宅の入居者選考を行うとともに、市営住宅建物の修繕等により適正な管理・運営を行うため。

効果 市営住宅入居の公平性及び入居者が安心して住める居住環境を確保する。

【事業の内容】

(1) 市営住宅運営事業

・市営住宅入居者選考委員会の開催など、市営住宅の運営に係る事務を行った。

(2) 市営住宅維持管理事業

・市営住宅の修繕及び指定管理者による維持管理を行った。

・借り上げ住宅の賃借料の支払いを行った。

・市営梶原住宅第3号棟外壁等改修工事は、年度内での完了が困難なため、翌年度へ繰越しを行った。

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
174,230	167,675	137,704	24,000	5,971
主な支出内訳				
・市営住宅運営事業				
入居者選考委員報酬 5人				42
・市営住宅維持管理事業				
市営住宅各種維持修繕料				0
市営諏訪ヶ谷ハイツ給湯器取替修繕				4,536
公営住宅電算システム保守点検業務委託料				576
市営住宅等指定管理料				36,950
福祉型借上市営住宅賃借料				94,542
市営梶原住宅第3号棟外壁等改修工事(翌年度への繰越明許費)				0



(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎市営住宅一般の経費

職員給与費

職員課

【対象となる職員】

都市整備部建築住宅課(住宅担当)

【職員給与費】

(単位:千円)

職員給与費		26,165
・ 給料	一般職	11,774
	一般職職員	3人
・ 職員手当等		10,434
	扶養手当	737
	地域手当	1,749
	通勤手当	363
	超過勤務手当	819
	管理職手当	900
	期末勤勉手当	5,038
	住居手当	648
	子ども手当	30
	児童手当	150
・ 共済費		3,957
	市町村職員共済組合負担金	

(款) 45土木費 (項) 25住宅費 (目) 5住宅管理費

◎住宅政策の経費

住宅政策推進事業

【 建築住宅課 】

【総合計画上の位置づけ】

安全で快適な生活が送れるまち

住宅・住環境:いつまでも住み続けられる鎌倉らしい住宅・住環境のまち

【事業の目的】

対象 市民等

意図 若年ファミリー層の転入促進と転出抑制、高齢者・障害者等が暮らし続けることができる住宅施策を推進し、安心して住むことができる環境を整える。

効果 人口の年齢構成バランスに配慮した住まいづくりを図る。

【事業の内容】

(1) 住宅政策推進事業

- ・若年ファミリー層転入・定住促進等の施策を推進していくため、県の動向や他市の状況等を住宅政策アドバイザーから助言を得て、方策について検討を行った。
- ・高齢者の民間賃貸住宅への入居の支援を行った。
- ・住宅の小規模改修工事への助成を行った。

【中事業に含まれる実施計画事業】

住宅政策の推進(5-5-1-①)

民間賃貸住宅への入居支援(5-5-1-③)

住宅リフォームへの助成(5-5-3-④)

【事業費】

(単位:千円)

当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
3,451	3,451	3,225		226
主な支出内訳				
・住宅政策推進事業				
住宅政策アドバイザー報償費				15
あんしん賃貸支援事業による入居支援業務委託料				310
住宅リフォーム補助金				2,900
主な特定財源				
・国県支出金				612